

会 議 録

会議の名称	令和7年度第2回上尾市地域福祉推進協議会 ※上尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会と合同会議	
開催日時	令和7年10月8日(水) 午前10時から午前11時半まで	
開催場所	上尾市立上尾公民館講座室503室(あげお富士住建ホール内)	
議長(会長・委員長)氏名	会長・委員長 田村 綾子	
出席者(委員)氏名 (8名) (※6名)	田村 綾子、小野 美佐江、鈴木 玲子、大熊 郁美、小杉 道郎、橋本 洋子、市川 富代子、宮本 利章、 ※上尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員として参加 酒井 憲司、河田 千栄、本城 文夫、小牟田 健治、 山本 和義、※田村 綾子(市委員兼務)	
欠席者(委員)氏名 (2名)	原 佑太、大場 玲子	
オブザーバー		
事務局(庶務担当) (6名)	(市)加藤課長、梅津主幹、佐藤主事 (社協)池田事務局長、西方課長、大川原課長補佐	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) 第4次上尾市地域福祉計画・第7次上尾市地域福祉活動計画策定の為のアンケートについて (2) その他	◇議事録署名人は小野委員と鈴木委員に決定。 ◇議題(1)了承。 ◇議題(2)了承。
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 0名
会 議 資 料	別添のとおり	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和8年3月17日</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 <u>小野美佐江</u></p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 <u>鈴木玲子</u></p>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
田村会長	議事録署名人が必要になります。協議会の名簿の順に、小野委員と鈴木委員に署名人をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
小野委員	はい。
鈴木委員	はい。
田村会長	ありがとうございます。それでは小野委員、鈴木委員に議事録署名人をお願いいたします では、本日の配布資料につきまして事務局よりご確認をお願いいたします。
事務局	事前に送付させていただきました資料の確認をさせていただきます。 次第、資料1～4、以上5点となりますが無い方お声かけをお願いします。
田村会長	よろしいでしょうか。 それでは議事に入らせていただきます。次第に沿って議事の1点目、次期計画策定に関するアンケート調査についてです。資料の1から資料4に沿って事務局より資料のご説明をお願いいたします。
事務局	それでは、次期計画策定に関するアンケート調査についてご説明いたします。資料につきましては、事前に郵送した資料1から資料4でございます。資料1「次期計画策定に向けたアンケート調査について(概要)」と記載されているものをご用意ください。 まず、概要について説明をさせていただきます。「地域福祉計画」は地域福祉を推進していくための理念や仕組みを作る計画であり、また、「地域福祉活動計画」は、具体的な地域福祉活動の内容を位置付ける計画でございます。市と社会福祉協議会が一体となって2つの計画を合同で策定し、上尾市の地域福祉を連携して推進してまいります。アンケート内容につきましては、現行計画である第3次上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画策定時の令和2年度に実施したアンケート内容を基本としつつ、次期計画として想定されるニーズを取り入れ、以下の項目を盛り込んでいます。 一つ目は、福祉に対する意識や地域活動への参加状況などの実態を把握するもの。二つ目は、現行計画(基本理念や基本目標)に対する市民の満足度を把握するもの。 また、アンケートの種別(対象)を以下の4つに分け、「一般市民向け」「福祉事業者向け」「福祉関係団体向け」「民生委員・児童委員向け」としております。 なお、③の「福祉関係団体」と④の「民生委員・児童委員」向けのアンケート調査票は、1つにまとめ作成しております。また、回答方法につき

ましては、郵送による回答に加え、今回からスマートフォンやパソコンからでも回答できるようにいたしました。

それでは、アンケートの説明に移ります。

まず、はじめに「一般市民向け」アンケートからでございます。資料2をご覧ください。

一般市民向けアンケートは、無作為抽出した18歳以上の市民3,000人を対象に、福祉に対する意識や地域活動への参加状況などの実態を調査するものです。1ページ目は、アンケートの概要や目的、アンケートの回答方法について記載しております。ここで、訂正がございます。冒頭の説明文の「また、ご提供いただいた情報は、各アンケート・・・」の部分の「各」を削除いたします。

2ページ目は、アンケート調査に当たりまして「地域福祉」「地域福祉計画」「地域共生社会」についてお伝えし、地域福祉を推進していくためには、市民アンケートが必要不可欠ですということで、アンケートの協力をお願いするという流れで構成しております。

3ページ目からがアンケートになります。アンケート内容の説明につきましては、前回5年前に実施したアンケートの変更点や追加点など、設問の変更点について補足説明をさせていただきます。

【変更点の説明】

・問1の「あなたの性別はどちらですか」の設問ですが、回答欄の選択肢に、3の「回答しない」を追加しました。トランジェスターや性別を特定して欲しくないという、多様な性への在り方にたいする配慮が必要ではないかことで設けさせていただきました。

・問5の「あなたの世帯は自治会・町内会・区会に入っていますか。」の設問ですが、こちらは、前回のアンケートでは、「はい」「いいえ」「わからない」の3つの選択肢でありましたが、「いいえ」の理由を把握するため、2と3の「いいえ」の選択肢に（入ったことがない）（以前は入っていた）を入れさせていただきました。

・問9の「あなたはこの調査に回答する前から次の言葉を知っていましたか。」という設問で①～④の選択肢がございますが、前回のアンケートでは選択肢はなく、「あなたはこの調査に回答する前から「地域福祉」という言葉を知っていましたか。」という設問でした。

今回は、「地域福祉」のほかに、計画の指標として関りのある「地域共生社会」、「成年後見制度」、「ふくしの窓口」について、認知度を把握するために、選択肢を設けさせていただきました。

・問23「あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか」という設問に対する、選択肢についてでございます。前回は、「はい」「いいえ」「わからない」の3択でしたが、防災訓練が実施されていない地域もあることから「いいえ」の選択肢に（防災訓練は実施されている）と（防災訓練が実施されていない）の二つに分けました。

・問26の「あなたは、「避難行動要支援者名簿への登録」を知っていますか。」という設問です。こちらは、新規に追加したものです。

「避難行動要支援者名簿」とはどんなものかと言いますと、災害時に自力で避難することが困難な高齢者、障害者、要介護者などを対象に作成

される名簿のことで、災害発生時の避難支援や安否確認の基礎となるものです。こちらも計画の指標評価に関わるものなので、認知度を把握するために追加させていただきました。

・問 31 の「あなたは、ふだん福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。」の設問に対する回答選択肢に、3 の「市や社会福祉協議会の公式 SNS」を追加しました。

・問 40 の「外国人住民にとっても暮らしやすい地域にするためには、どのようなことが必要だと考えますか。」という設問です。最近では外国人住民も増えていることから、新たに設けさせていただきました。

あとは、前回のアンケートでは、新型コロナウイルス関連の設問がございましたが、5年前と状況が変わってきておりますので、一部削除しました。

一般市民向けアンケートに関する変更点等の説明は以上でございます。

続きまして、資料 3 の「事業者向け」のアンケートの変更点等についてご説明いたします。

「第 4 次上尾市地域福祉計画 及び 第 7 次上尾市地域福祉活動計画策定のための事業者アンケートご協力のお願い」と記載されているものでございます。

1 ページ目は市民向けアンケートと同様に、アンケートの概要や目的、アンケート回答方法について記載しております。2 ページ目からアンケートになります。こちらも変更点や追加したところをご説明いたします。

・問 1 の「貴事業者は、どの分野の業務を行っていますか。」に対する回答欄についてですが、A 高齢者福祉関係の 2 「ケアマネジャー」と記載されておりますが、前回のアンケートでは「居宅介護支援関係」でした。高齢介護課に確認したところ、「ケアマネジャー」に変えて欲しいとのことでしたので、文言を変更させていただきました。

・問 4、「貴事業者では、情報をどのように発信していますか。」に対する回答の欄選択肢、5 に「Facebook や X (旧 Twitter) などの SNS」を追加しました。

あとは、市民アンケート同様、新型コロナ関連の設問は削除しました。「事業者向け」のアンケートに関する変更点等の説明は以上でございます。

続きまして、資料 4 の「福祉関係団体、民生委員・児童委員向け」のアンケートの変更点等についてご説明いたします。第 4 次上尾市地域福祉計画及び第 7 次上尾市地域福祉活動計画策定のための団体、民生委員・児童委員アンケートご協力のお願い」と記載されているものでございます。

1 ページ目は他のアンケートと同様に、アンケートの概要や目的、アンケート回答方法について記載しております。2 ページ目からアンケートになります。

問 2 から問 8 は、民生委員・児童委員向けの設問でございます。

問 9 から問 18 までは福祉団体向けとなっております。

こちらも変更点や追加したところをご説明いたします。

	<p>・問 12「貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。」と問 13の「貴団体では、団体の活動に必要な情報を主にどこから入手していますか。」についての回答欄の選択肢の追加でございます。</p> <p>問 12は6のところ、問 13は12の選択肢に「Facebook や X (旧 Twitter) などのSNS」を追加しました。また、同じく問 12の選択肢3及び問 13の選択肢7に「ボランティアセンター通信」を追加しました。</p> <p>問 19からは福祉関係団体、民生委員すべての方の設問になります。</p> <p>・問 19の「活動を通じて感じる、地域の問題点や課題はどのようなものですか。」回答の選択肢に「孤立死・孤独死の防止などのために」の文言を追加しました。こちらは、社会的孤立の増加という背景にある社会構造の変化に対応するため、追加させていただきました。</p> <p>その他の設問は、前回アンケートに記載していた、社協13支部で実施している「あったか見守りサービス事業」関連の事業、及び新型コロナ関連の設問を削除しました。</p> <p>なお、アンケート開始時期につきましては、11月から開始し、12月中に期限と考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、アンケート調査についての説明は以上でございます。今回のアンケート案について、改めたい箇所や追加等、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
田村会長	<p>ご説明ありがとうございます。それでは、これから、質疑、ご意見を頂戴する時間をとりたいと思います。</p> <p>先にご質問のある方はいらっしゃいますか。</p>
宮本副会長	<p>前回調査を行った令和2年は、コロナ禍の只中でありアンケートにも反映されていたのだと思うが、今現在は物価高という情勢であり、この辺りは盛り込むことは可能なのでしょうか。そこまでの必要があるのか教えてください。</p>
田村会長	<p>それでは、事務局の方で答えをお願いいたします。</p>
事務局	<p>ご指摘ありがとうございます。</p> <p>価格高騰における市民生活への影響は認識していますが、現状では盛り込むことは想定していませんでした。関係課に確認し、各課で行う計画の方で反映できるかどうか検討していきたいと思っております。</p>
田村会長	<p>今日のご意見は事務局の方で持ち帰っていただき、各担当課に確認いただき、必要があれば反映していただくという事よろしいでしょうか。</p>
河田委員	<p>アンケート実施時期は11月とのことだが、民生委員・児童委員は改選時期でもあり、対応は難しいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>11月上旬の各地区定例会で配布し、回収は郵送返信やWEBで行うため、対応していただくことは可能と思っております。</p>

小牟田委員	一般市民アンケートの対象は、外国籍の方も含まれるのでしょうか。
事務局	住民登録のデータに含まれていれば、外国人も対象として含めて抽出する予定です。また、年齢上限はありません。
本城委員	一般市民向けのアンケート（資料2）と団体・民生委員向けのアンケート（資料4）は重複して配付される可能性は ありますか 。
事務局	一般向けのアンケート（資料2）と団体・民生委員向けのアンケート（資料4）は重複しないように対応いたしますが、おそらく、一般向けのアンケート（資料2）と事業者向けアンケート（資料3）は重複する可能性はありえることと考えます。
田村会長	福祉事業者90施設と福祉関係団体200団体の数については全数なのか抽出数なのか、どちらでしょうか。
事務局	全数であり、全数配付の予定です。
田村会長	〈資料2：市民向けアンケートについての質疑〉
小杉委員	問9：（言葉の認知度）の選択肢にある④ふくしの窓口は、他の選択肢の①地域福祉、②地域共生社会、③成年後見制度と趣が違うように感じますので、省く方がよろしいのではないかと思います。
田村会長	省くか、別の選択肢に差し替える方が良いのではということでしょうか。
事務局	問9の設問にある④ふくしの窓口については、削除いたします。なお、ふくしの窓口についての設問について、事務局の方で検討いたします。
市川委員	同様に成年後見センターを知っているかどうかについての設問を設けてはどうでしょうか。
事務局	ご意見ありがとうございます。そのような方向で検討いたします。
河田委員	問1：性別における選択肢3『回答しない』は、せっかく回答していただいているので、もう少し良い表現はないのでしょうか。
事務局 （環総研）	『その他』や『いずれにも該当しない』など、より良い表現を提案させていただきます。
田村会長	その場合は、「どちらですか」を問うのではなく、「あなたの性別をお答えください」など、多様性に配慮した表現にすると良いように思います。
市川委員	WEBで回答する場合、一つずつ設問に答えていかないと先に進めないように必須選択として設定するのでしょうか。

事務局	その通りです。
市川委員	パソコンでの回答について、URL はなるべく短縮したアドレスだと助かるように思います。また、外国の方にも送るとすると、表記の表現や読み方などについても回答のしやすさに配慮すべきであると思います。
事務局	そのように工夫できるよう検討いたします。
市川委員	(資料 2 からは逸れる。) 資料 4、7 頁-問 12~13 等にある、Facebook や X などの SNS とあるが、Instagram や TikTok 等も含まれるということでしょうか。
事務局	その通りです。
田村会長	先程の、外国籍の方への読みやすさの配慮という話がありましたが、外国籍の人、障害者や高齢者にも考慮し、例えば、ふりがな、字の大きさ、行間など、用紙を印刷するときに「読みやすさ」「回答しやすさ」への工夫を最終的に検討してほしいと思います。
事務局	誰もが回答しやすい表現やレイアウトに変更を検討いたします。
小野委員	ひとり世帯の方の家族との関係を問う設問があっても良いと思います。 4 頁-問 11・12 は、近所の人との付き合いは聞いていますが、家族との関係を尋ねてはいない。家族との関係については大切な設問ではないかと考えます。
事務局 (環総研)	近所の人とだけではなく、家族との関係も加味して設問を見直します。
田村会長	表紙の「ご本人」の解釈はどうすべきでしょうか。 「調査票を受取ったご本人」という風に解釈した方が良いでしょう。また、7 頁-問 18 の「誰に相談しますか。」という設問文は、「誰に」だけでなく、「どこに」という表現も追加した方が良いでしょう。10 頁-問 26 「避難行動要支援者名簿への登録」の認知度を問う設問がありますが、認知度を尋ねるだけで良いのかどうか、登録状況等は踏まえないのでしょうか。
事務局	問 26 については、登録している方が非常に少なく、今回は認知度のみとしたいと考えています。また、事務局の方では、知らない方が多いと予測しており、この言葉を知っているのかの認知度を把握したいと考えています。
田村会長	〈資料 3 : 福祉事業者向けアンケートについての質疑〉
宮本副会長	問 2 : 事業者が所在する地区を尋ねる設問について、選択肢中の『わか

	らない』は不必要ではないでしょうか。
事務局	『その他』の選択肢を設け、括弧書きで記入してもらうことに修正したいと思います。事業所が市内に複数ある場合、中核になっている事業所を答えてもらいたいという思いがありました。あくまでも、市内の「事業所」に送る予定です。
田村会長	事務局やコンサルの方で整理をお願いしたいのですが、あくまで上尾市内で運営されている事業所にとどまり、母体が市外の法人の場合でも、事業所自体が上尾市にあるからという、そこが重要ではないかと思えます。 「事業者の名称・代表者名」を回答するのか、「事業所の名称・代表者名」を回答するのか、回答しやすいようにコンサルの方でも整理してもらいたい。その結果、「わからない」という回答を残すか残さないかの判断は事務局に委ねたいと思います。
田村会長	問3：事業所の運営形態を問う項目について、配布先は一般社団法人には送るのでしょうか、であるならば『その他』で含める認識なのでしょうか、また、株式会社“など”という表記が気になるのですが、いかがでしょうか。
事務局	一般社団法人に該当する場合は、『その他』に入る認識と考えています。その他、いただいたご意見を整理して修正いたします。
田村会長	問10：必要としている支援を尋ねる設問については、DX化やICTの推進などオンライン化対応における支援といった選択肢があっても良いのではないのでしょうか
事務局	状況などを確認して検討いたします。
田村会長	〈資料4：福祉関係団体・民生委員向けアンケートについての質疑〉
小杉委員	「民生委員・児童委員」という表現に、「主任児童委員」という言葉も並べてもらいたい。民生委員・児童委員、主任児童委員という正式表記でお願いいたします。
事務局	承知いたしました。
小杉委員	9頁-問20：「個人情報の活用」については、本人の事前同意がどうなっているのかという前提も記載すべきではないのでしょうか。(本人の同意がある前提として～等の追記)
事務局	設問の方に、本人同意についての記載をいたします。
本城委員	4頁-問9：資料が送られるのは、団体の代表に送られるのか、一般の会員に送られるのでしょうか。また、代表宛であれば、代表者名を再度記

	入してもらう必要はないのではないのでしょうか。
事務局	実際に代表の方が記入するのではなく、事務を担っている方などが受領、記入することが想定されるので、記入してもらう欄を設けています。
田村会長	調査票は、行政や社会福祉協議会で把握している団体のみに送るのでしょうか。
事務局	コロナ禍で、解散してしまった団体もいるかと思いますので、現在、活動しているかどうかも事前に確認を行いながら送付する予定であります。
小牟田委員	(資料4だけでなく) 前回の回答率を参考に教えてください。
事務局	市民調査 (3,000件中1216件) : 回収率40.5%、 事業所調査 (90件中53件) : 回収率58.9%、 団体調査 (200件中155件) : 回収率77.5%、 民生委員・児童委員 (316件中296件) : 回収率93.7%
田村会長	くり返しになってしまいますが、行政が把握している福祉団体全て(約200団体)に送る認識で良いのでしょうか。
事務局	把握しているところに送付しています。これから確認していきますので200団体に満たない可能性もあります。
田村会長	そもそも、今回、福祉関係団体向けと民生委員向けのアンケートを一つ(資料4)にまとめたのはどういう意図があるのでしょうか。
事務局 (環総研)	設問の内容に似ているものが多く、最初に属性(団体か民生委員か)を尋ね、そこを基準にクロス集計すれば、集計結果では反映できると考えました。調査票作成の合理化を目的としたものであります。
田村会長	目的は合理化のために統合したが、ご回答される方(民生委員や団体の担当者)の視点から見て、それぞれに分けて送る方が良いという意見もありました。統合したまま送るか、分けて送るかのどちらが良いか挙手で確認したいので挙手をお願いいたします。
(委員挙手)	→ 福祉団体用と民生委員用でそれぞれ設問を分けて送ることに決定。
事務局	ありがとうございました。アンケートは民生委員用と団体用とに分けて作成いたします。(アンケートは4部門の作成)
田村会長	9頁-問19: 選択肢の10と20が虐待に関する選択肢のもので、10は『 <u>こども・高齢者・障害者に対する虐待</u> 』、20は『 <u>児童や認知症高齢者などの～</u> 』、という表記になっています。この表記は統一し、認知症は削除した方が良いのではないのでしょうか。また、20に障害者を入れた方が良

	いのではないのでしょうか。
事務局	表記の方は統一し、障害者も含めたいと思います。
市川委員	障害者については、「害」の字をどう扱うのでしょうか。
事務局	前回は倣って、今回の調査票では漢字で表記していますが、所管課に確認し（行政用語なども確認）、検討いたします。
田村会長	問 11-2 等で、「どのような機関・団体と連携したいですか。」という設問文ですが、選択肢中には『民生委員・児童委員』や『弁護士・司法書士』なども入っています。設問文は「団体“など”」と改めた方が良いのではないのでしょうか。（問 7、問 8 も同様）
小杉委員	問 6：この設問に関する回答について「5 つまでに○」となっていますが、ここだけ、該当するものを全てではなく、5 つまでと限定しているのはなぜでしょうか。回答者の立場で考えると、ほぼ全て該当するよう思え、甲乙つけがたいのですが・・・。
事務局	前回のアンケートと比較するために、「5 つまで」としています。「 <u>特に</u> 」などの文言を追記し修正いたします。
宮本副会長	上尾市では「こども」の“こ”の字を平仮名に統一をしないのでしょうか。
事務局	市の方では、「こども」の“こ”はひらがなで、固有名称などで漢字を使っているものはそのままにしています。市として、事業によって表記を使い分けるものと、そうでないものがあるので、その慣例に倣いたいと考えています。
田村会長	それでは、全体を通して他にお気づきのことが有れば、今週中にメールやお電話などでお声がけいただくことでよろしいのでしょうか。
事務局	はい、よろしく申し上げます。
田村会長	今後の流れは、今回の質疑を踏まえて、調査票の修正は事務局に一任して対応してもらおう形で良いのでしょうか。
委員一同	了承いただく。
事務局	〈今後のスケジュールについて〉 次回の会議の日程には、1 月下旬予定ですが、アンケートの集計の状況では変更する可能性もありますので、ご承知おき頂きたい。 (異議なし) 議事は以上で終了。

